

麻生区区民会議 第8回専門部会『麻生区の魅力の発掘・発信検討部会』議事要旨

- 1 開催日時：平成29年9月12日（火）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 安藤和彦委員、石井よし子委員、菅野明委員、鈴木昭弘委員、高倉秀敏委員（副部会長）、長岡さや委員、林恵美委員（部会長、全体会副委員長）、松田基久乃委員、吉垣君子委員
（欠席）橋本周委員
[事務局] 企画課 安藤課長、鈴木
[コンサルタント] 中島、永野

4 傍聴者：0名

5 議 題：

1. 調査・審議課題の検討について

(1) これまでの審議内容の振り返り

- ・『麻生区の魅力の発掘・発信検討部会』におけるこれまでの審議内容を振り返るとともに、合意事項についての再確認を行った。

(2) 調査審議課題の検討

1) 麻生区の発信すべき魅力について

- ・コンサルより前回の意見を反映したまちのイメージ（案）に関する説明を行った。
- ・委員の意見を基に、さらにイメージ（案）をブラッシュアップしていくこととした。

【主な意見】

- ・原風景という表現は時間や個人的体験を含む概念であると思うので、人によって原風景は異なることになるのではないかと。里山のあるまちといった表現の方が良いのではないかと。
- ・谷戸は若い人にはわからない人がいると思う。昔ながらの風景、里の風景、里山の風景といった表現の方が良いのではないかと。
- ・昔ながらの懐かしい里の風景という表現ではどうか。
- ・市民活動、ボランティアというと、福祉的なイメージを持つ人が多いと思うが、市民活動については、自然や農、芸術も市民活動が支えている側面があるといったニュアンスが伝わると良いと思う。
- ・市民活動は自然や農、芸術と並列に表記するものではないのではないかと。
- ・市民活動という言い方は硬いイメージがあり、敷居が高く感じる。市民によるまちづくりといった柔らかい表現が良いのではないかと。

2) 子育てフェスタでのヒアリングについて

- ・子育てフェスタでのヒアリング内容や進行方法についての確認、合意が得られた。

- ・お礼のクリアファイルについては、回答した大人一人につき一枚配布することとした。

【主な意見】

- ・ヒアリングの趣旨が長いと、やり取りがしにくくなるため、箇条書きにするなど、コンパクトにしてほしい。
- ・質問1のイベントは、文字だけだと分からないので、写真の数を増やした方がよいのではないか。
- ・質問1のイベントは、数が多いと、ヒアリングに時間がかかってしまうのではないか。
- ・ヒアリングの回答者数を把握する必要があると思う。
- ・子どもだけがクリアファイルが欲しいと言ってきた場合や、複数の子どもがいる家族の場合の対応を決めておく必要がある。
- ・今回のヒアリングの趣旨からすると、ターゲットは大人である。200枚という枚数の制限もあるので、回答してもらった大人に渡すということでもよいのではないか。
- ・子育てフェスタでは、別にアンケートが実施されるので、本調査はヒアリングという名称に決定した方がよい。

2. その他

- ・次回は10月10日（火）に開催すること、子育てフェスタ（9月16日（土））の前日準備を9月15日13時半より第5会議室で行うこと、子育てフェスタ当日は雨天決行であることを伝達した。

以 上